

球

心

日本体育大学
桜友会
ソフトテニス部
部報



卒業によせて

部長・監督 篠原秀典

今年は、男子八名、女子七名がめでたく卒業、卒部致しました。誠におめでとうございます。

今年の卒業生ですが、男子部におきましては前年度の優勝は逃し、おきましては前年度の優勝は逃しました。そこからさらにチームは成長し、インカレでは優勝には届かず敗れはしたものの、選手と応援が心をひとつにし、素晴らしい戦いを見せてくれました。この精神、その大きさを思い起こさせてもらいました。最後の最後までもがき続けたキヤブテンをはじめ、卒業生のメンバーにも感謝したいと思います。ありがとうございます。

女子部においては、一年生の時より第一線で戦い、チームのエースとして活躍していた笠井をキヤブテンに据え、念願であるインカレ優勝を狙いました。最大のライバルとなるのは東京女子体育大学。

今年の卒業生ですが、男子部におきましては前年度の優勝は逃しました。そこで「応援でチームを纏めたい」と志願し、相談をしてく

ました。その後押しになり力を発揮させてくれました。そこで、「応援でチームを纏めたい」と志願し、相談をしてくださいました。そこからさらにチームは成長し、インカレでは優勝には届かず敗れはしたものの、選手と応援が心をひとつにし、素晴らしい戦いを見せてくれました。この精神、その大きさを思い起させました。最後の最後までもがき続けたキヤブテンをはじめ、卒業生のメンバーにも感謝したいと思います。ありがとうございます。

女子部においては、一年生の時より第一線で戦い、チームのエースとして活躍していた笠井をキヤブテンに据え、念願であるインカレ優勝を狙いました。最大のライバルとなるのは東京女子体育大学。

今年の卒業生ですが、男子部におきましては前年度の優勝は逃しました。そこで「応援でチームを纏めたい」と志願し、相談をしてく

ました。そこで、「応援でチームを纏めたい」と志願し、相談をしてくださいました。そこからさらにチームは成長し、インカレでは、東京女子体育大学との再々戦となりましたが、初戦から一気に流れを持つて行かれてしまいました。短期決戦をものにするとの難しさを改めて実感する結果となりましたが、学生たちはその困難に立ち向かい、日々研鑽を重ねてくれました。そんな彼女たちの取り組みを称えたいと思います。お疲れさまでした。

スポーツでは自分の望むものを手に入れるといふと思つた時に、「どうしたらそれが可能なのか?」「どんなチームであれば実現するのか?」を想像し、取り組みを具体的にして実行していきます。そして、その成果が目に見えるものとなつて現れるのは「結果」であり、その過程においては果たしてそれが正しいのか、間違つているのか分かりません。せん。「どうすれば勝てるのか?」は全て想像でしかなく、その不確実なものを考え、信じ、努力していくことは大変難しいことだと思いますが、成功率を上げる分析力と、信じ抜くひたむきさを身につける活躍に期待しています!

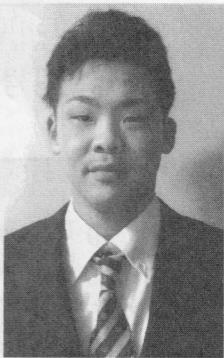
今年の卒業生ですが、男子部におきましては前年度の優勝は逃しました。そこで「応援でチームを纏めたい」と志願し、相談をしてく

ました。そこで、「応援でチームを纏めたい」と志願し、相談をしてくださいました。そこからさらにチームは成長し、インカレでは、東京女子体育大学との再々戦となりましたが、初戦から一気に流れを持つて行かれてしまいました。短期決戦をものにするとの難しさを改めて実感する結果となりましたが、学生たちはその困難に立ち向かい、日々研鑽を重ねてくれました。そんな彼女たちの取り組みを称えたいと思います。お疲れさまでした。

スポーツでは自分の望むものを手に入れるといふと思つた時に、「どうしたらそれが可能なのか?」「どんなチームであれば実現するのか?」を想像し、取り組みを具体的にして実行していきます。そして、その成果が目に見えるものとなつて現れるのは「結果」であり、その過程においては果たしてそれが正しいのか、間違つているのか分かりません。せん。「どうすれば勝てるのか?」は全て想像でしかなく、その不確実なものを考え、信じ、努力していくことは大変難しいことだと思いますが、成功率を上げる分析力と、信じ抜くひたむきさを身につける活躍に期待しています!

今年度卒業生紹介

今年も、日本体育大学学友会ソフ
トテニス部より、男子八名、女子七名が卒業することになりました。
日体大での様々な経験を活かし、
これから社会を担う大きな存在となつてください。今後の御活躍を後輩一同心よりお祈り致
しております。



亀井伊吹
愛媛県
済美学園済美高等学校出身



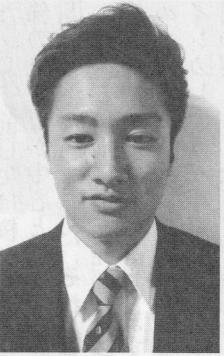
千葉隆太郎
岩手県
盛岡工業高等学校出身



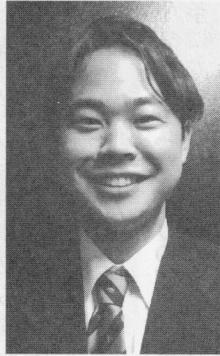
佐野間秀道
群馬県
三重高等学校出身



境崇博
熊本県
熊本工業高等学校出身



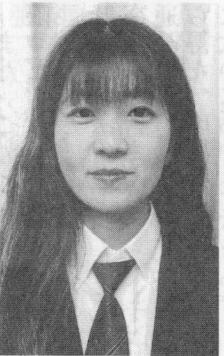
星野雄慈
新潟県
北越高等学校出身



原口峻一
福岡県
尽誠学園高等学校出身



永井宏典
埼玉県
東北高等学校出身



笠井佑樹
和歌山県
和歌山信愛高等学校出身

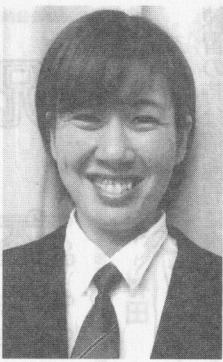


岩下美久
熊本県
尚納高等学校出身



山本貴大
石川県
能登高等学校出身

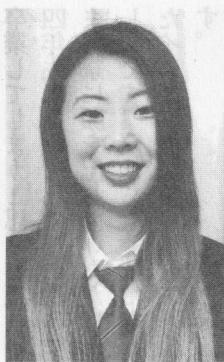
河村希美
千葉県
昭和学院高等学校出身



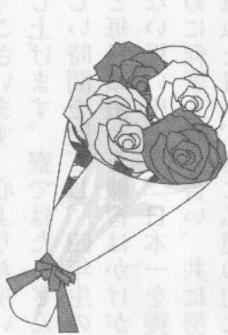
増田有里子
群馬県
広島翔洋高等学校出身



齊藤瑠花
山形県
山形城北高等学校出身



宮園未奈
鹿児島県
中村学園女子高等学校出身



渡辺真央
埼玉県
実践女子学園高等学校出身



四年間を振り返つて

四年 星野雄慈

四年 渡辺真央

四年間を振り返つてみると、僕自身もチームとしても様々なことにチャレンジをし続けた四年間だったと思います。僕自身としては二年目のインカレ（ダブルス）の個人戦ではペアの怪我もあり、急遽ペア変更をして出場をしたり、三年目の春から本格的にダブルフォワードという陣形に取り組んでみたり、四年目のインカレでは、東日本インカレでのこともあり個人戦（ダブルス）ではペア変更をして出場し、団体戦ではほとんど練習をしてきていない雁行人という陣形で試合を行うことになりました。また、チームとしては下級生が練習に集中できる環境を目指して多くのルール変更や今まで伝統として残してきた物を壊してきました。今思い返せば、どれもが本当に大きなチャレンジで、一步でも間違えたら最悪な方向に行っていたかもしれません。ですが、結果的に見たら個人としてもチームとしても最後のインカレでは過去一番に楽しんできました。

本当に四年間ありがとうございました。

四年間を振り返つてみると、僕自身もチームとしても様々な年にチャレンジをし続けた四年間だったと思います。僕自身としては二年目のインカレ（ダブルス）の個人戦ではペアの怪我もあり、急遽ペア変更をして出場をしたり、三年目の春から本格的にダブルフォワードという陣形に取り組んでみたり、四年目のインカレでは、東日本インカレでのこともあり個人戦（ダブルス）ではペア変更をして出場し、団体戦ではほとんど練習をしてきていない雁行人という陣形で試合を行うことになりました。また、チームとしては下級生が練習に集中できる環境を目指して多くのルール変更や今まで伝統として残してきた物を壊してきました。今思い返せば、どれもが本当に大きなチャレンジで、一步でも間違えたら最悪な方向に行っていたかもしれません。ですが、結果的に見たら個人としてもチームとしても最後のインカレでは過去一番に楽しんできました。

頑張つてきて良かったと思うことができました。本当に内容の濃い四年間でした。ありがとうございました。

祝卒業

二年 村田 優

四年生の皆様、ご卒業おめでとうございます。心よりお祝いを申し上げます。寮ではたくさんの楽しい時間を過ごし、四年生の方々に毎日頑張った練習はかけがえのない思い出です。日本一を獲るために何度も話し合い、共に努力を重ねた日々、常に私達の前に立ちチームを引っ張つて下さった姿は忘れません。そんな四年生の姿を見て、しつかりついていきたい、

令和元年度東都大学
ソフトテニス秋季リーグ戦

戦績記録

練習の時は積極的に声を出し、ミーティングの場では意見を言い合つ四年生の姿を尊敬しています。特に岩手インカレの時はチームの流れをつかむ四年生のプレーが多く、僕らも思い切つてプレーできました。応援でも四年生を筆頭に盛り上がることができ、応援から相手より一步り一歩りしていたと思います。そんな頼れる四年生も、寮では一緒にご飯をつくって食べたり、誕生日パーティーをするなど、私生活も楽しかつたです。僕の代がいろいろやつてしまい、市ヶ尾ランのあと、すみよし台掃除をするという苦い経験もしましたが、卒業してしまうと思うと寂しいです。四年生はそれぞれの道に進みますが、また寮に顔を出していただけたら嬉しいです。僕たちも達成できなかつたインカレ優勝を目指して頑張ります。



9月21日・22日に東京学芸大学テニスコートで行われた。男子は8校中7勝で見事優勝となり、女子は6校中4勝で惜しくも3位という結果となつた。

令和元年度 東都大学ソフトテニス秋季リーグ戦

<女子の部>

	1	2	3	4	5	6	順位
1 青山学院大学		②	1	③	③	③	1
2 日本体育大学	1		②	②	②	③	3
3 中央大学	②	1		③	③	②	2
4 東京学芸大学	0	1	0		②	②	4
5 日本大学	0	1	0	1		0	6
6 筑波大学	0	0	1	1	③		5

<男子の部>

	1	2	3	4	5	6	7	8	順位
1 日本体育大学		④	⑤	③	④	④	④	⑤	1
2 中央大学	1		④	⑤	③	④	③	⑤	2
3 東京学芸大学	0	1		2	2	2	1	③	7
4 東洋大学	2	0	③		③	④	2	⑤	4
5 青山学院大学	1	2	③	2		④	2	2	5
6 日本大学	1	0	2	1	1		1	④	6
7 筑波大学	1	2	④	③	③	④		④	3
8 芝浦大学	0	0	2	0	③	1	1		8

関東学生新進大会



11月16日、17日に早稲田大学所沢キャンパステニスコートにおいて行われた。男子は二日目に、川崎・森田ペア、村田・小田島ペア、篠田・小林ペア、垣本・渡辺ペアが残り、川崎・森田ペアが優勝、鈴木ペアが準優勝、濱田・戸根ペア、鈴木・原島ペア、浅倉・田辺ペアが二日目に残った。女子は、酒井・久保ペア、濱田・戸根ペアが三位、浅倉・田辺ペアがベスト8となつた。多くのペアが二日目に残り、日体大の一、二年生の活躍が見られた大会だつた。



関東学生秋季リーグ戦

11月2日、3日に早稲田大学所沢キャンパステニスコート、國學院大學渕野辺キャンパステニスコートにおいて、関東学生秋季リーグ戦が行われた。男子は二勝四敗で5位、女子は四勝一敗で三つ巴となり、得失点差で見事優勝という結果になつた。

令和元年度 関東学生ソフトテニス秋季リーグ戦

<女子の部>

	1	2	3	4	5	6	順位
1 東京女子体育大学		1	②	②	②	②	2
2 日本体育大学	②		1	③	③	③	1
3 明治大学	1	②		③	②	②	3
4 青山学院大学	1	0	0		1	②	5
5 早稲田大学	1	0	1	②		③	4
6 慶應義塾大学	1	0	1	1	0		6

<男子の部>

	1	2	3	4	5	6	順位
1 國學院大學		0	③	2	2	③	4
2 早稲田大学	⑤		③	④	④	④	1
3 明治大学	2	2		④	2	④	3
4 日本体育大学	③	1	1		1	③	5
5 法政大学	③	1	③	④		④	2
6 東京経済大学	2	1	1	2	1		6



全日本学生 インンドア大会



12月1日に小田原アリーナにおいて、全日本学生選抜ソフトテニスインンドア選手権大会が行われた。男子は溝端・山本ペア、橋本・星野ペアが出場し、橋本・星野ペアが3位入賞を見事3位に入賞した。女子は、笠井・久保ペア、宮園・河村ペアが出場し、笠井・久保が見事3位に入賞した。レベルが高い中での試合でとても良い経験となつた。

関東学生インンドア大会



12月6日に小田原アリーナにおいて、関東学生選抜ソフトテニスインンドア大会が行われた。男子は溝端・山本ペア、橋本・星野ペアが出場し、橋本・星野ペアが3位入賞を果たした。女子は、笠井・久保ペア、宮園・河村ペア、浅倉・斎藤ペア、黒田・桑名ペア、大貫・松尾ペア、酒井・田辺ペア、鈴木・原島ペアが出場した。黒田・桑名ペアは決勝で敗れてしまつたが、見事準優勝という結果を残した。多くのペアが出場したが、結果を残すことが出来ず、課題がたくさん出た試合だつた。これからは多くのペアが活躍できるよう頑張りたい。



この四年間、楽しい時も辛い時も共に過ごしてきた仲間、そして合宿所から、みなさんは、それぞれの道へ進んでいきます。
今後社会に出て、厳しい壁にぶつかつたとしても、日体大で四年間頑張ってきた皆さんなら絶対に大丈夫です。日体大での経験を活かして、自信を持つてこれからも大きく羽ばたいて下さい。



卒業生の皆さん、御卒業おめでとうございます。たくさんのご指導、思い出をありがとうございました。
大学で学んだことを活かしながら頑張って下さい。大貫さん一年間本当にお疲れ様でした。

(菅家)

卒業生の皆さん、御卒業おめでとうございます。短い間でしたが沢山の思い出をありがとうございました。これからも自分を信じて前向きに頑張って下さい。菅家君一年間本当にお疲れ様でした。

(大貫)

編集後記